



2020年7月22日

各位

会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピクス研究所  
 代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
 (コード番号:4576)  
 問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
 TEL 052-218-8785

(訂正)「第三者割当による第10回新株予約権発行に関する  
 補足説明資料」の一部訂正について

本日2020年7月22日に開示いたしました「第三者割当による第10回新株予約権発行に関する補足説明資料」につきまして、一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

訂正後の資料も別添しておりますので、詳細はそちらをご参照ください。

記

<補足説明資料5ページ目の図>

訂正前				訂正後			
<b>【導入品】</b>				<b>【導入品】</b>			
開発品	地域	フェーズ	ライセンス状況	開発品	地域	フェーズ	ライセンス状況
DW-1002	欧・米	上市	ライセンス アウト済み	DW-1002	欧・米	上市	ライセンス アウト済み
	カナダ	申請			カナダ	申請	
	日	P3			日	P3	
DW-1001	日	非臨床		DW-1001	日	非臨床	
DW-5LBT	米	P3	DW-5LBT	米	P3	メドレックス と共同開発	
未熟児網膜 症治療薬	日	非臨床	未定	未熟児網膜 症治療薬	日	非臨床	未定
増加(パイプライン獲得)				増加(パイプライン獲得)			

以上

D.WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

第三者割当による第10回新株予約権発行に  
関する補足説明資料

2020年7月22日

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<https://www.dwti.co.jp>



証券コード: 4576

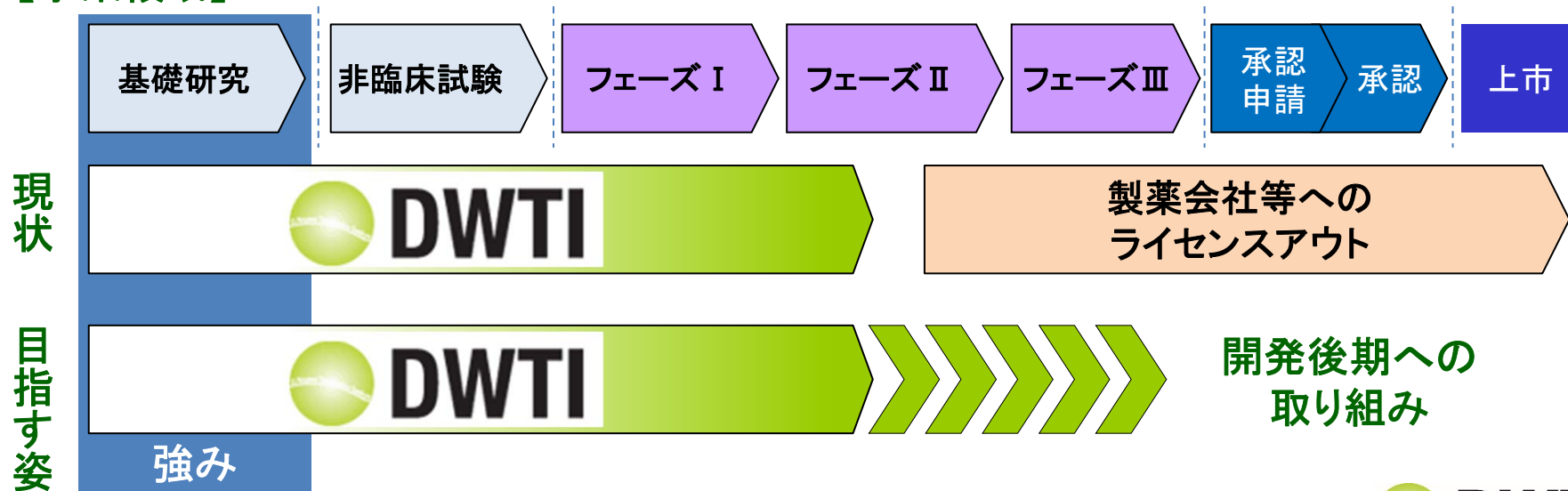
# 資金調達の目的

～日本発の画期的な新薬を世界へ～

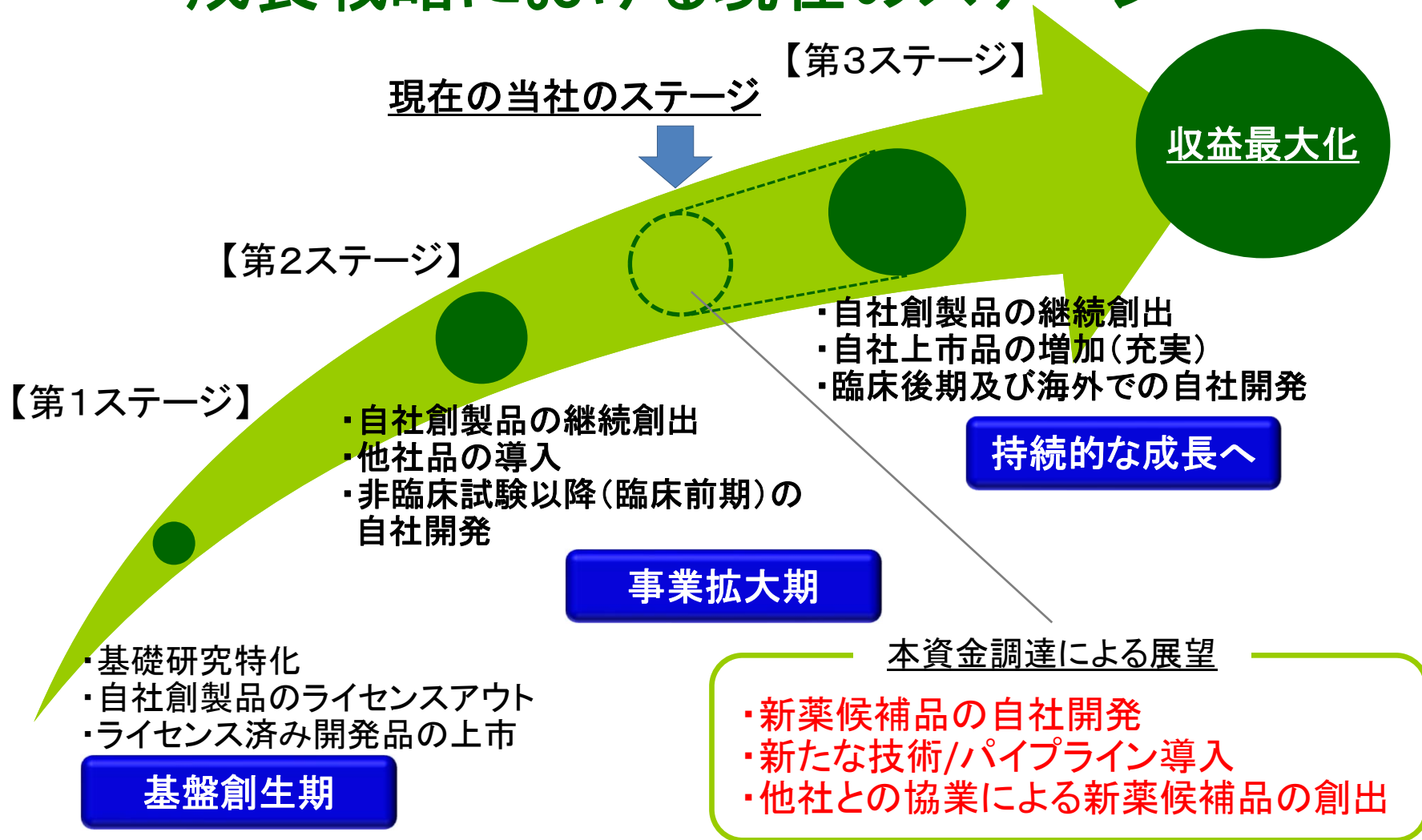
研究・開発型へのビジネスモデルのシフトを加速

- ✓ 事業領域の更なる拡大
  - ✓ 次期中核パイプラインの創製、開発
  - ✓ 更なる成長性の獲得
- ➔
- 新薬候補品の価値向上
  - 新しい上市品の保有
  - 収益性の向上

## 【事業領域】



# 成長戦略における現在のステージ



本資金調達の実現により、従来から有するロイヤリティによる安定性に加えて更なる成長性の獲得(=第3ステージへ)を目指す。

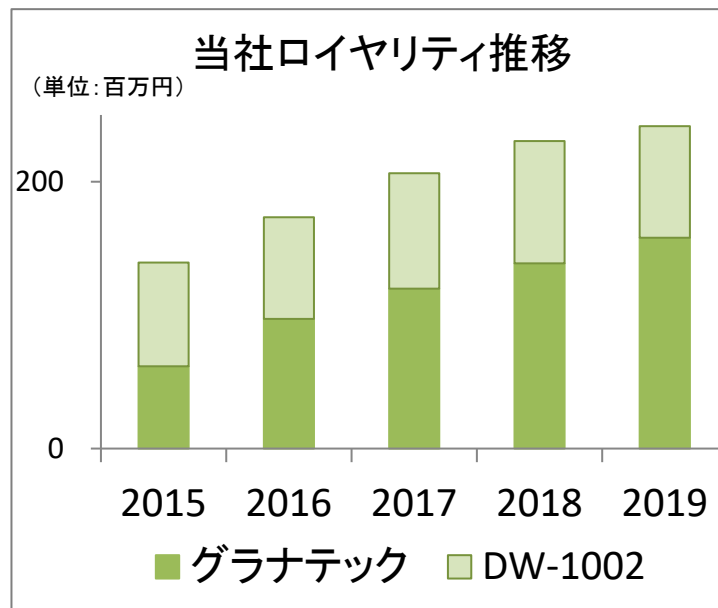
# DWTIグループの目指す姿

～安定した収益基盤を土台に成長性を獲得～

- ◆ 基礎研究段階で早期に導出したグラナテック等の着実なロイヤリティ収入を土台に、従来以上に研究開発に資本を投下することでライセンスアウト後の収益性を高めていくビジネスモデルの確立へ。

## 【安定した収益基盤】

- グラナテックやDW-1002などの上市品からの継続的なロイヤリティ収入
- 開発早期段階でのライセンスアウトにより、低コストでの開発体制を維持



## 【高い成長性・収益性の獲得】

①～③の実現に向け、本資金調達における「具体的な資金使途」を設定(P.7とリンク)

① 新規技術の導入、多面的なアプローチによる付加価値の高い開発品の創製

② 臨床開発を自社で行うことによるライセンスアウト時の収益最大化

③ 創薬事業の中核たる基礎研究活動の継続推進による、競争力の強化

⇒ 上記取り組みにより、上市薬を有し安定性を持つ稀有なバイオベンチャーから、更に成長性を獲得し突出した存在へ。

# パイプラインの状況(2020年7月22日現在)

□・・・本資金調達における資金使途の対象に含まれるもの

## 【自社創製品】

開発品	地域	フェーズ	ライセンス状況
グラナテック	日	上市	ライセンス アウト済み
	韓・シンガポール・マレーシア	承認	
	ベトナム・タイ	申請	
K-321	米	P2	
K-232	日	P3	
K-134	日	P2	
H-1337	米	P2a	自社推進

## 【導入品】

開発品	地域	フェーズ	ライセンス状況
DW-1002	欧・米	上市	ライセンス アウト済み
	カナダ	申請	
	日	P3	
DW-1001	日	非臨床	
DW-5LBT	米	P3	メドレックス と共同開発
未熟児網膜 症治療薬	日	非臨床	未定

増加(パイプライン獲得)

## 【研究開発プロジェクト】

開発品	共同研究先
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	三重大との産学官連携講座、他大学との共同研究
新規デバイス創出プロジェクト	Glaukos Corporation
標的タンパク質分解誘導薬開発プロジェクト	ユビエンス

増加(新規研究開発プロジェクトの創出)

増加(新薬候補品の創出)

# 本新株予約権の概要

- 株価動向によらず、最大発行株式数は5,200,000株(2020年6月30日現在の総議決権数に対し19.77%)に固定。

	第10回新株予約権
割当日	2020年8月7日(金)
新株予約権個数	52,000個
潜在株式数(最大希薄化率)	5,200,000株 (2020年6月30日現在の総議決権に対し19.77%)
資金調達額	2,132,344,000円(差引手取概算額)
行使期間	2020年8月11日(火)～2023年7月31日(月)
割当予定先及び割当方法	SMBC日興証券に第三者割当
当初行使価額	410円
上限行使価額	なし
行使価額修正	行使請求の効力発生日の前取引日の普通株式の普通取引の終日の売買加重平均価格(VWAP)の92%に相当する金額に修正
下限行使価額	287円(発行決議日前営業日終値×70%)
その他	行使停止、取得条項、譲渡制限

(注): 上記は本新株予約権の行使が全て行われることを前提としております。

# 本新株予約権発行の目的と資金使途

- 日本発の画期的な新薬を世界へ届ける創薬ベンチャーとして、今後は安定性に加えて更なる成長性を兼ね備えた企業へと飛躍するため、「グラナテック」や「DW-1002」に次ぐ新たな上市品を創出すべく必要な資金を確保いたします。

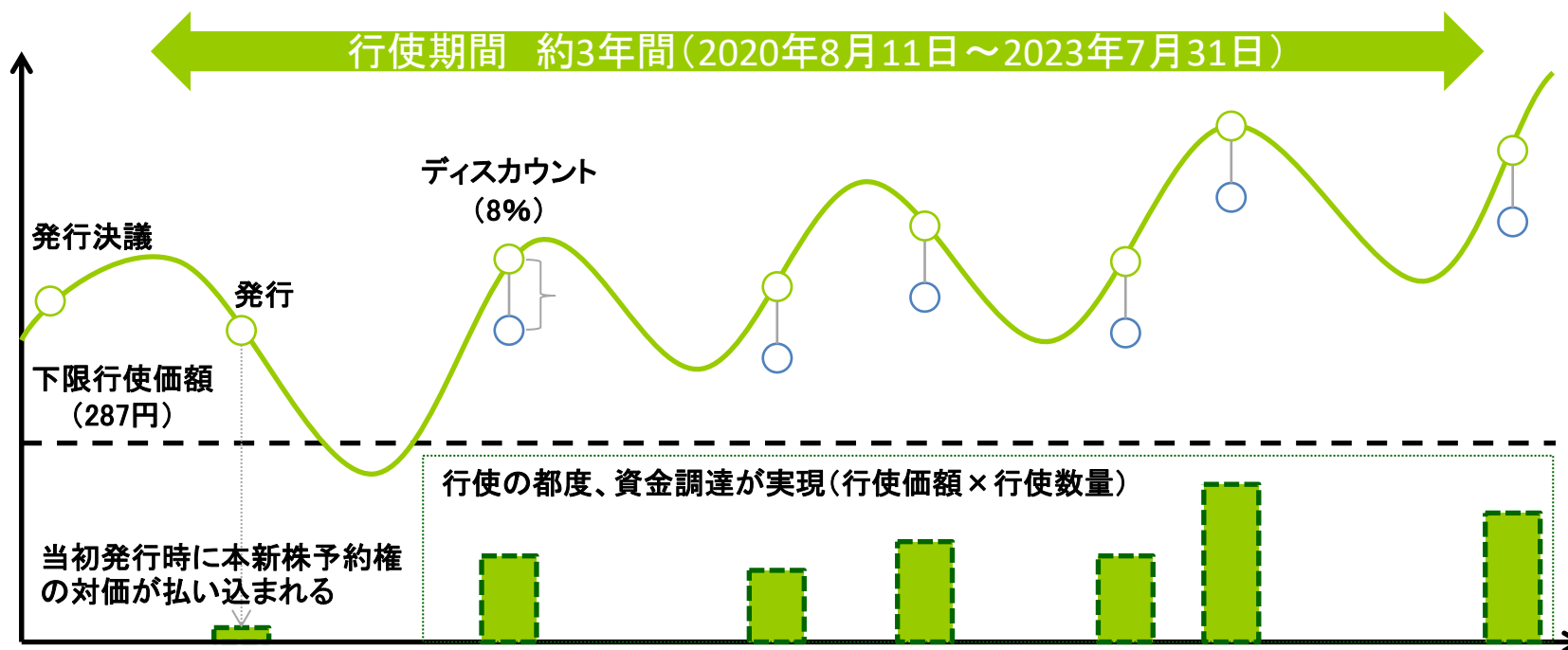
## 【資金使途】

具体的な資金使途	金額(千円)	支出予定時期
① 新薬候補品の開発推進に係る費用及び新規パイプライン獲得に係る費用等	1,000,000	2021年1月～2022年12月
② 「H-1337」の開発資金	600,000	2020年8月～2022年12月
③ 創薬研究活動(共同研究を含む)に係る資金	266,172	2020年8月～2022年12月
④ 運転資金	266,172	2020年8月～2022年12月



# 本新株予約権による資金調達の仕組み

- ✓ 割当先 (SMBC日興証券) は、市場動向・投資家動向を踏まえた上で行使請求を行うことができ、当該行使に係る株式の対価として代金 (行使価額) を払い込む (権利行使により徐々に資金調達が実現)
  - 行使価額は、行使請求の効力発生日の直前取引日の売買高加重平均価格 (VWAP) の92%に相当する価格に修正される (行使価額修正条項)
  - 修正後の価額が下限行使価額を下回った場合、下限行使価額が行使価額となる (本新株予約権の行使は想定されない)
- ✓ 割当先 (SMBC日興証券) は、本新株予約権の行使によって得た株式を株価動向等を勘案し適宜売却していく方針



(注): 上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移することをお約束するものではありません。

# 本新株予約権に関するQ&A

質問	回答	参照ページ
今回の資金調達スキームを選んだ理由は？	SMBC日興証券より、第三者割当による本新株予約権の発行及び本ファシリティ契約の提案を受け、資金調達金額や時期を当社が相当程度コントロールすることにより、急激な希薄化を回避するとともに、既存株主の利益に配慮しつつ株価動向に合わせた資本調達が可能となる、本ファシリティ契約付の本新株予約権の発行が現時点における最良の選択であると判断しました。	P.6,7
本スキームの主な特徴は？	行使停止指定条項により、当社は、当社の判断によりSMBC日興証券に対して本新株予約権を行使することができない期間を指定することができ、資金需要や株価動向等を見極めながら、資金調達の時期や行使される本新株予約権の量を一定程度コントロールすることができます。	P.7
本資金調達スキームのメリットは？	本新株予約権の目的である当社普通株式の数は5,200,000株で一定であるため、株価動向によらず、本新株予約権の行使の結果交付されることとなる当社普通株式数が限定されていることにより、希薄化を限定し、既存株主の利益に配慮しています。また、本新株予約権には上限行使価額が設定されていないため、株価上昇時には希薄化を抑制しつつ調達金額が増大するというメリットを当社が享受できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となっています。	P.7,8

(注): 参照ページは、2020年7月22日付「第三者割当による第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及びファシリティ契約(行使停止指定条項付)の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

# 本新株予約権に関するQ&A

質問	回答	参照ページ
<p>本資金調達スキームのデメリットは？</p>	<p>①SMBC日興証券が本新株予約権を行使した場合に限り、資金調達がなされるものとなっているため、満額の資金を短期間で調達することは困難です。②行使価額の修正により全ての新株予約権が行使されても満額の資金調達ができない可能性があります。③株価や出来高等の状況によっては権利行使が進まず、資金調達及び資本増強がなされない可能性があります。加えて、当社は、2023年7月31日に、その時点で残存する本新株予約権の全部を、本新株予約権1個当たりにつき払込金額と同額で直ちに買い取る義務を負います。④最大希薄化株数が限定された場合においても、本新株予約権全てが行使されるとは限らないため、行使終了まで最終的な希薄化を確定させることができません。</p>	<p>P.8,9</p>
<p>株式はいつ発行されますか？株価への配慮はどうなっていますか？</p>	<p>行使可能期間は約3年間（2020年8月11日から2023年7月31日）ですが、本ファシリティ契約は、当社とSMBC日興証券との間で、SMBC日興証券が本新株予約権を行使するよう最大限努力することや、行使停止指定条項等について取り決めるものであります。これらの取り決めにより、行使可能期間において本新株予約権の行使が進むことで当社の資金調達及び資本増強を図りつつ、資金需要や株価動向等を見極めながら、当社の判断により行使指定や停止指定を行うことで資金調達の時期や行使される本新株予約権の量をコントロールすることが可能となります。</p>	<p>P.5,6</p>

(注): 参照ページは、2020年7月22日付「第三者割当による第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及びファシリティ契約(行使停止指定条項付)の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

# 本新株予約権に関するQ&A

質問	回答	参照ページ
希薄化の規模は？	本新株予約権の全てが行使された場合には、2020年6月30日現在の総議決権数263,081個に対して19.77%の希薄化が生じます。	P.7
公募増資等と比較して株価への影響は？	公募増資による当社普通株式の発行は、短期間で多額の資金調達を行うことが可能ではあるものの、同時に1株当たり利益の希薄化も短期間に大きく引き起こされるため、株価に対する直接的な影響がより大きいと考えられます。	P.9
割当先としてSMBC日興証券を選んだ理由は？	SMBC日興証券より提案を受けた本資金調達の手法及びその条件は、既存株主の利益に配慮し当社株式の急激な希薄化を抑制するとともに、株価動向等を見極めながらエクイティ性資金を調達し、本資金調達の目的及び中期的な経営目標の達成に向けて、財務の柔軟性を確保しながら安定的かつ強固な経営基盤を確立することに重点を置いている当社のニーズに最も合致しているものと判断しました。その上で、SMBC日興証券が今回の資金調達の実施にあたり十分な信用力を有すること、国内外に厚い顧客基盤を有する証券会社であり今回発行を予定している本新株予約権の行使により交付される普通株式の円滑な売却が期待されること等を総合的に勘案して、SMBC日興証券への割当てを決定しました。	P.16
今回、SMBC日興証券へ貸株を行う予定はありますか？	当社の代表取締役社長である日高有一より貸株を行う予定であります。	P.17

(注)：参照ページは、2020年7月22日付「第三者割当による第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及びファシリティ契約(行使停止指定条項付)の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

# 本新株予約権に関するQ&A

質問	回答	参照ページ
もし株価が下落し続けた場合はどうなりますか？	本新株予約権には下限行使価額が設定されているため、株価下落時における当社普通株式1株当たり価値の希薄化というデメリットを一定限度に制限できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となっています。具体的には、本新株予約権の下限行使価額を287円（発行決議日の直前取引日の終値の70%に相当する金額）に設定しました。	P.8
資金調達が想定どおりに進まない場合の対応はどうなりますか？	本資金を使用する優先順位としましては、まずプレスリリース本文記載の用途「①新薬候補品の開発推進に係る費用及び新規パイプライン獲得に係る費用等、②「H-1337」の開発資金、③創薬研究活動（共同研究を含む）に係る資金、④運転資金」に充当する予定であり、調達額が予定に満たない場合には、当該時点で未充当の資金用途には充当できなくなる可能性があります。そのような場合には、金融機関からの借入金等による資金調達の実施、及び手元現預金の活用等を検討する可能性があります。	P.11
今期業績に与える影響は？	第三者割当による本新株予約権の発行による影響は、その効果が中長期的におよぶものであり、当期（2020年12月期）の業績に与える影響は軽微であります。なお、今回の調達資金は、プレスリリース本文記載の用途に充当することにより、将来の業績に寄与するものと考えております。	P.18

（注）：参照ページは、2020年7月22日付「第三者割当による第10回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。



# 「日本発の画期的な新薬を世界へ」

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所  
D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<https://www.dwti.co.jp> tel:052-218-8785